

# とがち高等教育推進まちづくり会議

## 企画・事業部会検討状況報告

# I 取り組みの方向性

昨年度の総会において、以下の3つの方向性を確認した。  
平成30年度は、「食品安全管理のスペシャリスト養成」「人材活躍の場・環境づくり」を中心に進めた。

## ■ 短期的な取組項目（強みを活かす）

### ◆ 食品安全管理のスペシャリスト養成

◇ 地域連携による国際水準の獣医師養成

## ■ 中長期的な取組項目（伸びしろを伸ばす）

◇ アグリ・フードビジネスのマネジメント  
人材養成

## ■ 今後に向けての検討課題

### ◆ 人材活躍の場・環境づくり

◇ 高等教育機関の充実

## Ⅱ 食品安全管理のスペシャリスト養成

### (1) 「食品安全管理のスペシャリスト人材養成に関する意見交換会」での整理

(構成員: 帯広畜産大学、とち財団、帯広市)

#### 事業者等の認識・理解の促進

HACCP法制度化の詳細が未定であり、周知は所管官庁が担うべきことから、当面、具体的な取り組みは行わないが、**国や事業者・業界団体等の動向を随時把握・共有**する。

#### 各企業の専門人材の養成

各機関の人員体制や業務の実情を踏まえ、新たな連携は行わず、現在の支援を基本とする。なお、各機関の事業等について随時、情報共有するほか、**とち財団の事業者支援について、必要に応じ帯広畜産大学の協力を得る**。

#### 指導者・支援者の養成

人材育成やHACCP構築支援等を進める上で最優先課題であり、**とち財団職員のスキルアップや地元事業者との連携**に継続的に取り組む。

#### 地域の推進体制の構築

取り組みの中核となる教育機能の基盤強化に向け、**基礎的な調査研究や専門機関との連携**などを進める。

## Ⅱ 食品安全管理のスペシャリスト養成

### (2) HACCP支援者・指導者等研修の開催



- ◇主 催 とかち高等教育推進まちづくり会議
- ◇共 催 とかち財団、JAネットワーク十勝、  
十勝ふるさと市町村圏  
帯広ブロック実行委員会
- ◇開催日 平成30年8月30日～31日
- ◇会 場 十勝産業振興センター
- ◇参加者 17名  
(とかち財団・農協関係者など)
- ◇講 師 日本食品分析センター  
植田 浩之 氏
- ◇内 容 HACCP 7原則12手順  
グループ演習
  - ・危害要因分析
  - ・HACCPプランの作成支援・指導の要点 など

## Ⅱ 食品安全管理のスペシャリスト養成

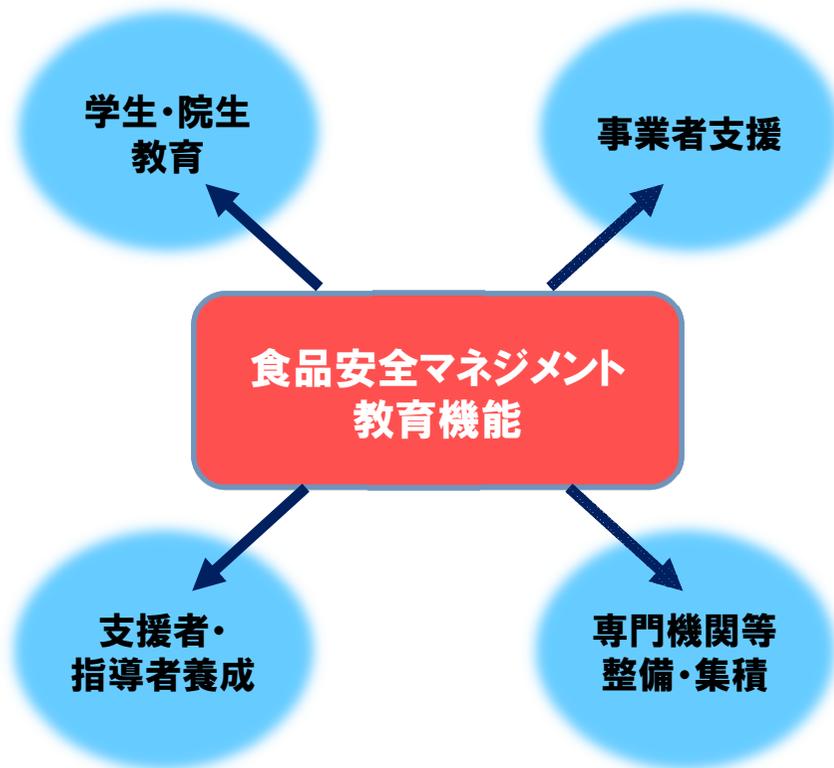
### (3) HACCPシステム構築の標準的な支援方法に関する研修



- ◇主 催 帯広畜産大学
- ◇開催日 平成30年10月9日
- ◇会 場 帯広畜産大学  
地域連携推進センター
- ◇参加者 11名  
(とち財団・帯広市など)
- ◇講 師 帯広畜産大学  
特任教授 渡辺 信吾 氏
- ◇内 容 文書作成上の留意点  
危害要因の抽出不足への対応  
管理手順のポイント  
FSSC22000への対応 など

## Ⅱ 食品安全管理のスペシャリスト養成

### (4) 食品安全マネジメント教育機能の基盤強化に関する調査研究について



◇趣 旨 食品安全マネジメントの人材育成や支援の継続的な実施に必要な人員体制など基盤強化を図るため、法制度や取引動向、企業ニーズなどの基礎的な調査研究を実施

◇内 容 ①関連法令、取引慣行、国際的な動向、食品安全関連職種・資格、認証制度、学生の進学動向、各大学の取組状況 等  
②企業・専門機関等のニーズ

◇手 法 ①意見交換会での調査  
②委託調査

◇結 果 来年度総会にて報告  
今後の検討の基礎資料として活用

## Ⅱ 食品安全管理のスペシャリスト養成

### ■ 委託調査の概要（予算額：140万円）

#### （１）食品メーカー・監査会社等における食品安全教育のニーズ

【内容例】

- ①新卒・社員に求める食品安全に関するスキル
- ②社内における研修の実施状況（外部研修の活用を含む）
- ③今後受講を希望する研修の内容
- ④食品安全専門人材の採用状況、今後の採用意向

【方法】

アンケート（十勝管内外400社程度、企業規模を調整）、ヒアリング

#### （２）食品安全教育機能の実現性

【内容例】

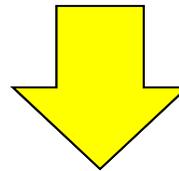
- ①指導人材の要件、体制構築の手法
- ②望ましいカリキュラム、必要な施設・設備、想定される学生数

# Ⅲ 人材活躍の場・環境づくり

## (1) 検討の進め方

ア) 人材活躍の促進に向け、高等教育機関にどのような**機能**が期待されるか。  
(～2019年夏頃)

- |                  |  |
|------------------|--|
| ① 全国における取組事例の確認  | ② 十勝における取組状況等の現状把握                             |
| ③ 今後に向けた地域ニーズの把握 | ④ 期待される機能に関する協議・整理<br><u>(産業人の育成については協議済み)</u> |



イ) 高等教育機関の機能充実に向け、どのような**地域連携**が必要か。  
(2019年秋頃～)

- ① 期待される役割・機能別の取組方向
- ② 産学官金連携体制のあり方 (地域連携プラットフォームの構築など)

## Ⅲ 人材活躍の場・環境づくり

### (2) 当面の検討項目

- ① 若者の地元定着と地域課題解決の促進  
(地域連携型の学生教育など)
- ② 人生100年時代を見据えた生涯学習の支援  
(リカレント教育など)
- ③ 地域産業の活性化 (共同研究など)

# Ⅲ 人材活躍の場・環境づくり

## (3) 若者の地元定着と地域課題解決の促進 (事例調査)

### ① インターンシップ

#### 【調査事例】

- 山形大学
- 石川県・ジョブカフェ石川
- 福岡工業大学

#### 【ポイント】

- 大学と企業・地域の連携体制
- 負担軽減のしくみ
- 他県を含む広域的な受け入れ
- 課題解決型のプログラム

### ② COC+事業

#### 【調査事例】

- 千葉大学
- 富山大学
- 信州大学
- 佐賀大学

#### 【ポイント】

- ◆ 就職・起業など  
地元定着を明確に意識
- ◆ 地域志向とキャリア形成が融合した体系的なカリキュラム
- ◆ 学生と企業・地域との多様な接点
- ◆ 企業・地域が抱える  
具体の課題解決に貢献

# IV 今年度の取り組み

3大学の経営統合に向けた動きと連動しながら、以下の取り組みを推進

## (1) 地域ぐるみの人材育成

- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| ① 食品安全管理のスペシャリスト養成       | 指導者・支援者の育成、調査研究の実施 |
| ② 地域連携による国際水準の獣医師養成      | 実習受入に向けた協議         |
| ③ アグリ・フードビジネスのマネジメント人材養成 | 国内外の先進事例に関する調査研究   |

## (2) 人材活躍の場・環境づくり

- |                     |                                    |
|---------------------|------------------------------------|
| ① 高等教育機関に期待される役割の整理 | } 地域連携型の学生教育<br>リカレント教育<br>共同研究 など |
| ② 地域連携方策に関する検討      |                                    |